

令和5年度

# 宮井小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎的・基本的な学力の向上に向けた授業の推進
- ②言語活動を充実させ、自分の考えをわかりやすく伝える児童の育成
- ③進んで学習に取り組む態度を育て、学校と家庭の連携による学習習慣の確立

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長	谷田裕之
教諭	鳥山実咲	教頭	林洋美
		教諭	大住佳代
		教諭	太田憲司
		研修主任	
		6年担任	
		3年担任	

校長  
谷田 裕之

### ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○児童の漢字・計算・視写・音読などの基礎学力向上をめざし全校で取り組んでいる。漢字の読み書きや計算などの基礎学力を身に付けることが概ねできている。 ●漢字の読み書きや計算などの基礎学力の個人差が大きい。また、語彙数が少なく、文章を読むこと・書くことを苦手とする児童が見られる。	①漢字や計算などの基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。 ②進んで文章を読んだり、正しい文章表現で文を書いたりできる。	①ドリルやプリント、テストなどで児童の基礎的・基本的な知識・技能の習熟度を確認する。「くじゃくタイム」を活用し、定着を図る。個人の能力に応じて、自主学習やタブレットドリル等の課題に取り組めるようにする。 ②読み聞かせや一斉読書の時間を通して図書や新聞などに親しませ、読書活動の充実を図る。また、日記指導や作文指導を通して、正しい文章表現力を身に付けさせる。			

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対しては、自分の意見を持ち、考えを深めることができる。 ●自分の考えや意見を相手に伝えることに消極的である。	①自分と友達の考えを比較・検討しながら聞き、自分の考えをより深めることができる。 ②目的に応じて、根拠や理由を明らかにし、筋道立てて自分の思いや考えを表現することができる。	①相手の意見を聞き、それに対する自分の考えをもつ場を適宜設定する。 ②発表の形式をスモールステップで指導し、様々な形での発表の機会を増やす。 ③成功体験を重ねることで、達成感を味わわせるとともに、安心して発表できる環境を行う。			

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して、真面目に取り組むことができている。 ●自分から課題を見つけて取り組むことが苦手である。また、学年に応じて家庭学習の時間を決めていたが、学年が進むにつれて、家庭学習の時間が確保できていない状況である。	①自分から課題を見つけて、楽しみながら主体的に学習に取り組むことができる。 ②自分に必要な課題や興味のある課題、家庭学習に対して、自分から前向きに取り組むことができる。	①児童の主体的な体験や活動を授業や学校生活全般に取り入れ、学習する喜びを味わうことができるようにする。(ICT機器の活用やホワイトボードミーティング等) ②「家庭学習の手引き」にそった家庭学習を定着させ、できる喜びを感じ、様々な課題に根気よく取り組む態度の育成を図る。			

